

事業番号	23
------	----

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	図書等購入事業						担当部	教育委員会事務局					
	会計区分	一般会計						担当課	図書館					
	事業期間	平成12年度以前		～		平成31年度以降		担当係	図書係					
	基本施策・展開方向	4	文化・スポーツ		16	生涯学習		3	図書館サービスを充実します					
	予算区分	款	10		項	5		目	9		大	2	中	2
	根拠法令・個別計画	図書館法、小牧市立図書館選書委員会設置要綱												
	目的	何・誰を対象に	図書館利用者											
		どの様な状態にするのか	市民の文化、教養、実用、調査研究のニーズに応え、図書館として適切な図書、雑誌、視聴覚資料等を購入し、市民に必要な情報提供をしていく。											
	内容(手段)目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成29年度実施内容 市民の多様な資料要求に応えるため、新刊図書を始め新聞や逐次刊行物及び視聴覚資料などを幅広く収集した。 資料選定にあたっては潜在的なものや将来予測されるものを含め、市民の期待とニーズの把握に努め、反映させている。 ・選書委員会 3回開催(7/7, 11/30, 3/5) ・図書購入冊数 20,094冊 ・視聴覚資料購入点数 376点 ・購入希望(リクエスト) 2,733冊 ・予約 108,318点</p> <p>◆29年度直接経費の内訳(支出ベース) 消耗品費 43,367千円 備品購入費 2,437千円 選書委員会委員謝礼 86千円</p> <p>その他特定財源 図書館資料弁償代金 31千円</p> <p>◆30年度直接経費の内訳(予算ベース) 消耗品費 43,789千円 備品購入費 3,05千円 選書委員会委員謝礼 96千円</p> <p>その他特定財源 図書館資料弁償代金 1千円</p>												
	受益者負担	無												

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30予算額		
事業費	費用	直接経費	千円	49,165	48,008	47,105	45,890	46,936	
		正職員	従事者数	人	3.50	3.50	2.50	1.50	1.50
			人件費	千円	26,201	26,201	18,715	11,229	11,229
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50
			人件費	千円	0	0	0	3,743	3,743
		費用合計		千円	75,366	74,209	65,820	60,862	61,908
	対前年比		%	—	98.4	88.6	92.4	101.7	
財源	一般財源	千円	75,328	74,177	65,785	60,831	61,907		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	その他財源	千円	38	32	35	31	1		

業	成果指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30
	年間購入点数(図書館施設すべて)	点	目標	—	—	—	—
実績			21,545	20,819	20,602	20,470	
所蔵点数(図書館施設すべて)	点	目標	—	—	—	—	—
		実績	548,511	554,273	555,071	552,616	
績	活動指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30
	貸出点数(図書館施設すべて)	点	目標	1,097,868	1,097,022	1,108,546	1,110,142
実績			1,021,191	1,039,942	999,686	984,319	
資料回転率(貸出点数÷所蔵点数)	率	目標	2	2	2	2	2
		実績	1.86	1.88	1.80	1.78	

事業の達成状況	事業の達成状況	年間購入点数の減少と計画的な除籍により飽和状態となっている蔵書の総量は抑制している。一方で、貸出点数がそれ以上に減少した。						
	事業実施における課題	読書離れによる貸出点数減少への対策が重要と考える。						
平成30年度	30年度における実施内容や結果見込み	計画的な除籍により適切な蔵書点数とする。また所蔵書籍の鮮度を保つことにより、貸出点数の増加を図ることで、資料回転率の向上につなげる。						
事業の評価	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの					
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	116	千円	予算区分	11	節	節
	判定理由・削減内容	資料点数が減少傾向である中、魅力ある蔵書とするため、充実した図書購入が必要と考えるが、新図書館に移転前の現図書館においては、図書購入の縮小を図る。よって、第11節消耗品図書購入費より116千円を削減する。						
	31年度以降の実施内容	適切な資料収集と計画的な除籍に努め、資料回転率の向上を図っていく。						